

## 第4回検討会の概要

- (1) 現地調査及び災害廃棄物サンプル調査等の結果について
  - ・7月5日に実施した検討会の現地調査結果について、現地で委託業者が広域処理の対象となっている選別後の災害廃棄物5種類を試料採取し、放射性セシウム濃度を測定した結果を説明しました。
  - ・現地の災害廃棄物付近で測定した放射線量については、0.05~0.07 マイクロシーベルト／時で、金沢市内とほぼ同程度の結果であることも確認しました。
  - ・それらの測定結果を踏まえ、委員からは、安全性には問題がないとの意見が出されました。
- (2) 災害廃棄物の処理・処分における安全対策について
  - ・市民の安全性の確保が前提となっていることから、災害廃棄物の受入れを想定した場合に、焼却処理、埋立処分における安全対策を検討しました。
  - ・委員からは、現地調査の結果から、通常の処理・処分でも安全性には問題はないが、市民が安心して受入れるための安全対策を講じ、放射能濃度や放射線量の監視体制の充実を図る必要があるとの意見が出されました。
- (3) その他
  - ・これまでの検討結果を報告書としてとりまとめ、8月上旬に市長に報告することを確認しました。

※会議は、検討過程、意思形成過程であることから、非公開で行われました。